

# 「スポーツツーリズムの更なる展開へ ～地域をつなぐ仕組みづくり～」

令和元年 **8月21日(水)**

**13:30 ~ 16:30** (開場13:00~)

＜会場＞ 山形市保健センター 大会議室  
(霞城セントラル3階)

＜参加費＞  
**無料**

定員120名

＜参加申込＞ 事前の申込みが必要です。裏面をご参照ください。



山形県内でも広がりを見せるスポーツツーリズムを、観光振興のみならず国内外からの交流人口拡大による地域活性化、産業振興に発展させるため、平成30年に山形県で実施されたスポーツツーリズム誘客促進事業の実施事例を基に、スポーツツーリズムを取り巻く現状や課題、観光物産関連の地域事業者の受け入れ態勢、設備、心構えなどについて理解を深め、山形県の地域・人・産業をなお一層豊かにする仕組みづくりを考えるシンポジウムを開催いたします。

## プログラム

1.主催者あいさつ : 平井 康博 (公益社団法人山形県観光物産協会 会長)

2.来賓祝辞

3.基調講演 <第一部>

「スポーツツーリズムを取り巻く現状と今後の可能性」

講師 **中山 哲郎 氏** (日本スポーツツーリズム推進機構 事務局長)

4.パネルディスカッション<第二部>

「サイクリングツーリズムで地域をつなぐ仕組みづくり」

ファシリテーター **古田 菜穂子 氏** (山形県国際戦略検証委員会 委員長)

パネリスト **井上 寿 氏** (株式会社ライダス 代表取締役)  
(JCA公認 サイクリングガイド)

**青木 哲志 氏** (ジャパンエコトラック推進協議会 推進委員)  
(山形市商工観光部観光戦略課 課長)

**田村 圭一 氏** (じろで庄内事務局) (株式会社庄交コーポレーション 執行役員)

**大沼 啓介 氏** (山形県県土整備部管理課 企画主幹)

## <一部> 基調講演

### ● 中山哲郎（なかやま てつお）氏

一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構【JSTA】事務局長  
一般社団法人日本ゴルフツーリズム推進協会【JGTA】評議員  
内閣府地域活性化伝道師／JTB総合研究所客員研究員

1956年大阪市生まれ。1979年株式会社日本交通公社（現（株）JTB）入社。北海道・大阪・ジュネーヴ・東京・シンガポール等での勤務を経て、2016年12月退職。JTB及び日本オリンピック委員会・2016年東京オリンピック・パラリンピック招致委員会において、数多くのオリンピック・パラリンピック・FIFAワールドカップ等のスポーツイベント、スポーツツーリズム推進に関わる。



## <二部> パネルディスカッション

### ● 古田 菜穂子（ふるた なほこ）氏 山形県国際戦略検証委員会 委員長

岐阜市出身。新聞記者、映画プロデューサー等を経て2009年4月より岐阜県観光交流推進局長として、地域資源の観光資源化としての「岐阜の宝ものプロジェクト」をシステム化し、観光・食・モノのパッケージブランド戦略と戦略的な海外プロモーションなどにより、岐阜県での主要国からのインバウンド宿泊数をすべて10位内にランクインさせるなどの成果につなぐ。

現在、民間人として、岐阜県国際観光戦略アドバイザー、山形県ASEAN戦略アドバイザー、山形県国際戦略検証委員会委員長、兵庫県立大学大学院特任教授などをつとめる。著書多数。



### ● 井上 寿（いのうえ ひさし）氏

株式会社ライダス／株式会社ストラダ 代表取締役  
JCA公認 サイクリングガイド

2001年スポーツバイクのリテール事業開始、2007年「(株)ストラダ」設立。滋賀県草津市、彦根市にスポーツバイク専門店「ストラダバイクズ」を2店舗経営。自身もアイアンマンレースを完走し、トライアスロンを

楽しむ。2017年スポーツバイクの「コト」を商品としたイベント会社「(株)ライダス」設立。自転車と写真を組み合わせた「フォト・ライド」などオリジナルのサイクリングツアーを造成し国内外のお客様を多数ご案内する。2018年経済産業省「BrandLand JAPAN」事業者に採択される。

### ● 田村 圭一（たむら けいいち）氏

じろで庄内事務局  
株式会社庄交コーポレーション 執行役員

スポーツへの気運や人々の健康意識の高まりを受け、豊かな自然に囲まれた山形県の風土や文化、地域の魅力を体験するサイクルイベント「じろで庄内」を企画、事務局として尽力。昨年プレ大会、今年9月に第1回を迎える。国内外に発信し地域間連携を基本に中交流人口拡大を目指す。



### ● 青木 哲志（あおき さとし）氏

ジャパンエコトラック推進協議会 推進委員  
山形市商工観光部観光戦略課 課長

平成30年4月山形市商工観光部観光戦略課長に就任、平成21年度より広域連携や観光圏整備事業を担当。平成29年3月にDMC「おもてなし山形(株)」設立に係る。



モンベルと連携し、地域のアウトドアフィールドを活用したアクティビティの受け入れ態勢の整備を行ない、旅行商品化と販路拡大を目指している。

### ● 大沼 啓介（おおぬま けいすけ）氏

山形県県土整備部管理課 県土強靱化推進室  
企画主幹

山形県が、この8月に策定した「山形県自転車活用推進計画」の担当。このほか、道路・河川等のインフラ整備の企画調整業務を担当している。

## スポーツツーリズム シンポジウム 参加申込書

団体名 (個人も可)			
申込者名		参加人数	人
連絡先	TEL:	FAX:	
	Eメール:		
備考			

申込方法:Eメール又はFAX 〆切:8月19日(月)必着

Eメール :sports@yamagatakanko.com FAX :023-646-6333

(公社)山形県観光物産協会 事務局 TEL :023-647-2333